

KUMAGAYA SOUTH Rotary Club of Saitama RI Dist. 2570

President : Tsuguhiro Shimazaki
Secretary : Naoyuki Okuda
Hotel Garden Palace
Sayada3248-1 Kumagaya shi



2011. 11. 30

No. 20



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Kalyan Banerjee
RI President, 2011-12
Masao Tachihara Gouverneur
RI Dist 2570

第661回例会 会報

地区ロータリー財団部門委員長卓話

地区R財団部門委員長の松本光司様による「未来の夢」についてのお話がありました、2013年7月から全地区に新モデルが適用されます。

意味の良く判らないタイトルでしたが松本委員長の説明で輪郭が判って来ましたが、まだまだ勉強が必要と会員の皆様も感じていたと思います。

本日のプログラム 12月7日(水)
親睦例会

会長挨拶

会長 島崎 次弘



皆さん今晚は、ロータリーが取り組んでいる奉仕活動は様々な分野に及んでおりますが、その中の特定部門の活動を強調するために、特別月間を設けております。8月は会員増強及び拡大月間、9月が新世代のための月間、10月は職業奉仕と米山の月間、そして11月がロータリー財団月間となっております。

そこで今日は、地区よりロータリー財団部門委員長の松本光司様をお招きして卓話をお願い致します。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることであるとうたっております。具体的には「ポリオプラス=ポリオ撲滅運動」に代表される人道的援助があります。また、新世代部門が高校生を

中心とした若い世代の交換留学生を支援しておりますが、ロータリー財団は、大学生・大学院生・社会人を対象とした国際親善奨学生学生の支援にも力を入れてきました。

当クラブも、創立以来年次プログラム基金への寄付である「ポールハロスフェロー」、恒久基金への寄付である「ベネファクター」は、微力ではありますが、途切れることなく協力をしてまいりました。今日は私達の行ってきた寄付金が、ロータリー財団を通じてどのように世界に、社会に活用されているのか、改めて理解するいい機会でもあると思います。

また、ロータリー財団もこれから大きく変わろう

としているようです。立原ガバナー公式訪問の場でも、ガバナーが強調されておりました、「未来の夢計画」が2013年から実施されることになっております。これにつきましても今日は詳しくご説明頂けるとおもいます。

最後に、松本様には大変恐縮ですが、なるべく分かりやすくお話頂けます様お願いを致しまして、挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

幹 事 報 告

幹事 奥田 尚幸



1. 地区より
 - *12月のロータリーレート 1ドル=78円
 - *地区大会お礼状
 - *ポールハリスゆかりの月桂樹の苗木について
 - *米山記念奨学部門「Xmas会」のご案内
2. RIより
 - *国際ロータリー理事指名委員会の報告
 - *RIカタログ
3. 熊谷さくらマラソン大会実行委員会より
 - *第22回熊谷さくらマラソン大会の開催に伴う役員推戴について
4. 熊谷市国際交流協会より
 - *国際交流パーティーの開催について(御案内)

以上が届いております。

卓 話



「未来の夢」プラン説明する松本部門委員長

熊谷南ロータリークラブ卓話

成23年11月30日

R財団部門委員長 松本光司 (坂戸さつきRC)
国際ロータリー第2570地区R財団現況報告

1、2010~2011年度寄付金状況と今年度の地区目標

西川年度 寄付金状況 (会員1784名 2010年6月30日)

年次寄付 207,274, \$24¢

使途指定寄付 71,822\$16¢

恒久寄付 41,416\$47¢ 合計 321,631\$32¢

2011~2012年度R財団寄付金地区目標 (会員1735名 2011年7月1日)

年次寄付 個人レベル一人100ドル「毎年あなたも100ドルを」

クラブレベル一人50ドル 年次寄付として150ドル

地区目標として260,250ドル

恒久寄付 クラブレベル一人20ドル 地区目標として34,700ドル

使途指定寄付(チャレンジ・寄付金) クラブレベル一人30ドル

合計200ドル 地区目標として52,050ドル 合計347,000ドル

R財団のシェアシステムにより3年後の2014年~2015年度に使用されます。

今年度立原年度の活動資金は真下年度年寄付金275,141\$98¢の50%

137,570\$99¢と投資収益18,317\$97¢の

合計155,888\$96¢ (2011~2012年度国際親善奨学生3名派遣98,000万ドル使用)

2、GSEについて

西川年度でオーストラリア第9630地区より、GSE団員が来日予定ですが、3月11日の地震、原発の問題等の影響もあり来日を中止致して居りました、再度来日希望がございまして、

西川年度の地区会合のおり、立原ガバナーのご参加を頂きまして、吉田前GSE委員長より報告を受けまして、立原年度で受け入れを行う事となりました。

西川年度で受け入れを頂く内容は決まって居りましたが、各クラブへ再度のお願いを致しますので宜しくお願い致します。(受け入れ期間 24年3月25日～4月21日迄)

3、地区補助金申請状況について

西川年度では9クラブ14,350\$をご利用いただきました。

今年度はDDF配分の155,888ドル96セントのうち地区補助金2万\$を申請致しまして受理されております。

PG用途につきましては人道的分野、環境保全分野に限ります。

前期申請クラブ

入間RC 月桂樹苗木植栽事業
(東日本大震災復興支援)

所沢中央RC 精神障害者支援施設への製麺機及び付帯設備等寄付

入間南RC 入間市博物館「アリット」植物再生計画

本庄RC 本庄学童保育の会支援事業

前期分としまして9月26日に締切り4クラブの申請を受け付けました。申請内容につきましては事前に日本支局に確認致しまして10月3日付で仮承認、10月15日R財団地区役員会で申請書文言を修正し地区として承認致しました。

後期分の受付を始めておりますのでご検討いただきたいと思います。

(4件で7,875ドルの申請ですので残金が12,125ドル)

4、R財団国際親善奨学生について

1947年1月27日に、ポール・ハリスがシカゴの自宅で亡くなりました。財団はポール・ハリス基金を設け、敬意を表したいロータリアンに対して財団寄付をお願いしました。

70カ国以上、30万人以上のロータリアンがロータリーの創始者の死を悼み、翌年7月迄130万ドル以上の寄付が寄せられました。

1947年に最初のR財団プログラムが実現しました、高等研究奨学金と呼ばれるもので1年目は、米国、ベルギー、英国、フランス、メキシコ、中国の18名が選ばれ奨学金が送られました。日本での奨学生は緒方貞子さんが有名ですが、近年話題となりました、NASAの宇宙飛行士山崎直子さんもR財団奨学生のお一人です。

西川年度で選考致しましたR財団国際親善奨学生候補生は、小川あいさん(所沢RC) 湊めぐみさん(新所沢RC) 井上正子さん(志木RC)の3名です。

年5回のオリエンテーションを予定致して居りますが第1回が9月3日に行われました、当日は鈴木ガバナーエレクトより、世界の交通事情などのお話を頂きました。

オリエンテーションを通して、R財団国際親善大使と致しましての自覚と、日本、埼玉県について、地区、クラブの現況などのほか、留学先でのスピーチテクニック「メラビンの法則」自己紹介「elevator pitch」などのガイダンスを学友が中心と成り行っております。

年度申請は毎年10月1日が提出の締切日ですが、先日9月20日、茂木委員長より

日本支局へ一学年度のR財団国際親善奨学金の申請を行いなした、9月30日にエバンストンより申請書受理と、2011年12月15日までに指定教育機関の通知が有る旨の連絡を頂いて居ります。3名の候補生が第一希望の大学に入るにはかなりハードルが高い様に思いますが、候補生の一生を左右する留学と成りますので、委員会と致しましても学友会と協力致しまして、締切日より早く提出が出来ました事に一先ず安堵いたして居ります。

立原ガバナー年度募集に付いて

9月17日に2570地区学友会会長・顧問の学友に参加を頂き2013年度～2014年度奨学生についての話し合いを行いました、学友会の意見をうかがう会議でもありました。

2570地区は1985年から139名の国際親善奨学生を世界各国に派遣致して参りましたが、2013年度よりの「未来の夢計画」では、国際親善の冠がなくなり新地区補助金の一部としての奨学金と成ります、従いまして国内外の大学生・大学院生・幅広く高校生にも奨学金を授与出来ることと成りますが、2570地区学友会は他の地区に類を見ないR財団への貢献を頂いて居ります。又、R財団の目標の一つとしてR財団学友との生涯にわたり関わりを持ち続け、学友がロータリアンと成る日を夢見てPGを行っております。

2013年より「未来の夢計画」による新地区補助金よる奨学金に付きましては、去る、10月15日の第2回R財団地区役員会におきまして奨学生の募集を踏まえ一応の結論を出しました。詳細につきましては12月募集案内と共に各クラブ宛てご連絡致します。又各クラブへの募集案内ポスター、選考方法、オリエンテーションの見直し、コストの削減など検討いたしました。

5、ポリオ撲滅活動とチャレンジ寄付金について
11月23日現在の発症状況です。
パキスタン・ナイジェリア・アフガニスタン・
インドの4カ国は野生株保有国
パキスタン 154名(昨年144) アフガニスタン
55名(昨年25) ナイジェリア 44
(昨年21) インド 1(昨年42) 野生株保
有国 254名(昨年同時期189)
非野生株 チャド 119名(昨年26) DRC
コンゴ 87名(昨年100) コートジボワール
36名(昨年0) など タジキスタンは今年 0
(昨年457名)
非野生株国 276名(昨年同期610) 合計538
名(昨年同期799名)
昨年1年間 1352名(野生株232 非野生株
1120)

ビル&メリンダ・ゲイツ財団とのチャレンジ寄
付金について

2007年12月と2009年1月の管理委員会によ
り2012年6月までにと2億ドルのチャレンジ
寄付金を誓約いたしました。

2570地区目標は2012年6月までに
324,000\$, 要請は1クラブあたり年2,000ドル
3年間で6,000\$ 地区はロータリアン一人
180\$と読み換えまして、真下年度よりお願い致
して参りました、2011年8月26日現在世界で
1億8,690万\$となった模様です。今年度一人
30\$をお願い致しておりますが目標の
324,000\$はほぼ達成できた模様です。チャレン
ジ寄付金へのご協力に感謝致します。

国際ロータリー1978年4~5月の理事会は国際
ロータリー75周年の記念事業として、「保険、
飢餓追放および人間損尊重補助金プログラム
(Health Hunger and Humanity Program)

いわゆる3-Hプログラムを設立し、これは
1979-1980ロータリー財団に引き継がれます、
このプログラムの目的は、国際間の理解、親善
及び平和を推進するための方法として、人々の
健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的社会
的向上をはかる事にあります。

1979年、フィリピンのザビノ・サントスパ
ストガバナー(1971-1980)年により国際ロータ
リーにポリオ免疫接種事業を行ってくださるよ
うに、という手紙を出しました、ポリオ予防ワ
クチンの必要性、国内外の諸機関の協力、ロー
タリアン及びロータリークラブの協力などが考
慮された結果、フィリピンは、3Hプログラム
による、最初の大規模免疫接種活動をするのに
最適であると、認められました。1979年9月、

生後3カ月から36カ月の600万人にたいして、
5カ年計画のポリオ免疫接種活動が始まりまし
た、この活動が国際ロータリー最初のポリオ撲
滅活動と成りました。(国際ロータリー75周
年基金から補助金が授与されました。)

日本の活動(ポリオ・プラスプロジェクト先駆
け)

1981年東京麹町RC(258地区現2580地区)
は3-Hプログラムの「インドはしか免疫プロ
ジェクト」の派遣ボランティアとし山田^{つひ}さんと
峰英二さんの二人を派遣、南インドで同プロ
ジェクトの指導に奉仕致します、早くからポリ
オの惨状に深い関心を寄せ、同クラブの設立15
周年事業「南インド・ポリオ免疫プロジェクト」
を提唱し100万円を基金として1982~1983年
度に南インドにワクチンを送り、地元のロータ
リアンと協力して、子供たちをポリオから救う
計画を立てました、第258地区と第275地区の
賛同を得て、2つの地区の世界社会奉仕(WC
S)プロジェクトに発展しました。

この報告がポリオ撲滅運動提唱の原動力にな
り国際ロータリーのポリオプラス撲滅運動に
発展しました。

日本でのワクチン投与に付いて

日本でのワクチン投与の実施率が70%に低下
傾向と有りました、原因としてポリオワクチン
投与に起因して数例の発症が報告されている
こと等国内での不活化ワクチンは臨床試験段
階で早くても2年待たないと完全移行にはなら
ないと有りました、神奈川県では輸入して不活
化ワクチンに切り替えるとの報道ですが、医療
事故が起きた時に対応が認められないなど問
題が有るようです。又保険適用外と成り輸入ワ
クチンは全額自己負担で1回4,500円~1万円
と高額に成る模様です、一日も早い政府の対応
が求められていると思います、欧州は不活化、
米国は2,000年に不活化以降発症報告は無、イ
ンド、アフガニスタン、アフリカは今も生ワ
クチンが使用されています。

去る10月24日が世界ポリオデーでした、日
本政府はパキスタン、アフガニスタンへ
無償援助を行う方針であるとの報道が有りま
した、「ポリオ撲滅は国際ロータリーコーポー
レートプロジェクト」すなわちポリオの撲滅をし
ない限り次のプロジェクトは採択しないとい
うことになって居ります。

6、R財団の投資収益について

リーマンショック以来2008~2009年度投資合

計 6 億 110 万\$に対して 1 億 6,390 万\$のマイナス 2009~2010 年度投資合計 6 億 7140 万\$に対して 5430 万\$のプラスとなり、2011 年 4 月 26 日のロータリーニュースでは 2010 年に投資方針等の見直しを行い 2010~2011 年度の速報では 1 億 3 千万\$のプラスとなり 80%を回復したとの報告が有りました、詳細は 11 月のロータリーウェブサイトに掲載され、2012 年 1 月に R 財団年次報告書として各クラブ宛送付されますので、是非会員皆様で国際ロータリーの年次報告と合わせてご確認いただきたいと思ひます。(11 月 23 日 R 財団地域セミナー時報告投資収益は± 0 迄回復の報告)

7、東日本震災復興基金 日本委員会報告

2011 年 7 月 1 日に発足致しましたが、第 1 回の報告書が届きました。

2011 年 9 月 7 日現在

現金寄付 US\$ 2,667,218 DDF による寄付 US\$ 1,405,034

総計 US\$ 4,072,252

34 件の MG 承認 (2011 年 6 月 30 日まで申請承認分 US\$1,094,577

日本委員会 PG 承認 (8 月 6 日までの 15 件) US\$765,740,47

9 月 7 日現在残高 US\$2,211,934,53

東日本震災復興基金へのロータリーカード 0,3%ポイント対象寄付は 2011 年 12 月 31 日迄 (3 年間未使用カードは使えなくなる)

基金への申請 2012 年 3 月 31 日締め切り 2012 年 6 月 30 日申請審査終了

(9 月、2570 地区より DDF の余剰金より 17,350 ドル贈与)

8、未来の夢計画について (2013 年度より)

R 財団は 1917 年アトランタ国際大会において、アーチ C・クランフが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でより良き事をするために基金を作ろう」と提案したことに始まり、1928 年の国際大会で「ロータリー財団」と名付けられました。その後 1983 年にイリノイ州の法令の下に、非営利財団法人となりました。以来「世界で良いことをしよう」と標語の下多くの PG を開発実行してまいりました、しかしあまりにも多くの事を行ったためこれが返ってあだとなってしまいました。マッチンググラントを例に致しますと 1965 年~2000 年の 35 年間に 1 万件の申請件数でしたが、2000 年~2004 年に 1 万件、2004 年から 2008 年に 1 万件と管理委員会は大量のロータリアンからの申請を処理することが難しくなりました、管理費が増え続け PG に使用できる寄付金へ影響を与える様

になりました、R 財団管理委員会は 2017 年に 100 年を迎えることを踏まえて、時代に即した R 財団の存在意義を活動の焦点と定めて取り組む必要があるとし、5 つの目的をかかげました。

5 つの目的

- ・財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化する、
- ・ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
- ・世界的目標と地元目標の両方を果たすための資金を提供すること。
- ・意思決定をさらに地区とクラブに移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- ・ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

5 つの優先事項 (未来の夢計画作成にあたり)

- ・プログラム運営の簡素化
- ・未来の夢計画に沿ったプログラム
- ・地区あるいはクラブレベルで「自分たちの財団」と自覚すること
- ・目標達成のための十分な資金と人材の提供
- ・計画を支える効果的な方策の開発

大きな成果と長期的な持続が望めるプログラムを目指して、財団プログラムをできるだけ簡素化し、R 財団の第 2 世紀に向けての計画が「未来の夢計画」Future vision plan という事になります。

委員会報告

● 出席報告

例会日 11 月 30 日

会員数	出席	欠席	MU	出席率
27	14	13	0	52%

お客様: RI 第 2570 地区ロータリー財団部門委員長
松本光司様

● ニコニコ BOX



地区ロータリー財団部門委員長・松本光司様
熊谷南 RC の皆様、本日はお世話になります。
島崎次弘会長・奥田尚幸幹事

11月20日の地区大会は大変立派な大会でした。時間も長かったですが出席の皆様には大変お世話になりました。ご協力有難うございました。本日は地区ロータリー財団部門委員長、松本光司様ようこそおいで下さいました。本日の卓話よろしくお願ひします。

澤田将信会員

お世話になりますサワタで〜す。本日は地区財団部門委員長松本様ようこそ、心から歓迎いたします。また財団の卓話よろしくお願ひ致します。

山口茂会員

2570 地区 R 財団部門委員長、松本光司様、本日の卓話をわかりやすく、質問は澤田研修委員さんにだけして頂き、よろしくお願ひ致します。先日の地区大会では遅くまでお世話になりありがとうございました。

佐川順一会員

2570 地区ロータリー財団部門委員長、松本光司様、本日卓話のために御来訪、ありがとうございます。なかなか詳しく理解出来ない財団について、御講話宜しくお願ひ致します。

棚澤正行会員

第 2570 地区ロータリー財団部門委員長、松本光司様、ようこそ南クラブへお越し下さいました。卓話よろしくお願ひします。

渡邊藤男会員

松本光司地区部門委員長様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

矢部喜明会員

松本財団部門委員長、本日卓話よろしくお願ひします。

石井一則会員

ロータリー財団部門委員長の松本光司様、ようこそ熊谷南 RC ご来訪賜りありがとうございます。卓話宜しくお願ひ致します。卓話の原稿ありましたらお願ひします。

塚越尚之会員

本日もよろしくお願ひします。

中島勉会員

ロータリー財団部門委員長の松本光司様、ようこそ熊谷南 RC へご来訪賜りありがとうございます。残念ですが、地区会合のため、卓話を拝聴できませんがよろしくお願ひ致します。

熊谷南ロータリークラブ

会報・広報 (IT) 委員会 石井一則・塚越尚之
小野寺弘行

TEL 048-522-6143 FAX 048-522-6153

E-mail: ksr@kumagaya-south-rc.com